

## 平成27年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成28年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成27年7月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成28年3月

土木部長 浦 真

項 目	実 施 結 果
<p><b>1 美しい県土、楽しく便利なまちの形成</b></p> <p>◇高速交通ネットワークの完結促進</p> <p>【部局連携】</p> <p>○中部縦貫自動車道の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永平寺大野道路については、平成28年度開通予定の永平寺・上志比間の工事促進を国に要請し、一日も早い全線開通を目指します。</li> <li>・大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を国に強く要請し、一日も早い全線開通を目指します。</li> <li>・大野油坂道路の大野東インターチェンジ(仮称)から下山インターチェンジ(仮称)間については、平成28年度の荒島第2トンネルなどの着手を国に働きかけ、大野東・和泉間の早期整備を目指します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <hr/> <p>中部縦貫自動車道整備促進大会を開催し、平成28年度内の一日も早い永平寺大野道路の全線開通や北陸新幹線敦賀開業に合わせた平成34年度までの大野油坂道路の全線開通実現について決議を行い、国土交通省に強く要請しました。</p> <p>永平寺大野道路の永平寺・上志比間については、平成28年度開通に向けて予定どおり工事が進められています。</p> <p>大野油坂道路の大野・大野東間については、測量と地質調査を実施しました。大野東・和泉間では、用地取得が約9割完了し、工事が順調に進捗しています。和泉・油坂間では、用地取得に着手しました。</p> <p>【中部縦貫自動車道の進捗状況】</p> <p>永平寺大野道路 永平寺・上志比間(5.3km) ・工事实施中</p> <p>大野油坂道路 大野・大野東間(5.5km) ・測量調査実施中 大野東・和泉間(14.0km) ・用地取得が進捗(約9割) ・工事实施中 和泉・油坂間(15.5km) ・用地取得着手</p>

項目	実施結果
<p>○若狭さとうみハイウェイの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞鶴西・敦賀間の4車線化を国と高速道路株式会社に要請し、早期着手を目指します。</li> <li>平成28年度供用予定の敦賀南スマートインターチェンジ(平成26年度着工)と平成29年度供用予定の三方PAスマートインターチェンジ(仮称)の整備促進を国と高速道路株式会社に要請し、早期供用を目指します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>舞鶴西・敦賀間の4車線化やスマートインターチェンジの整備促進について国と高速道路株式会社に要請しました。</p> <p>敦賀南スマートインターチェンジについては、平成28年度の供用を目指し、工事を進めています。</p> <p>三方PAスマートインターチェンジ(仮称)については、用地取得が完了しました。</p>
<p>◇道路・港湾の重点整備と利用促進</p> <p>【部局連携】</p> <p>○主要道路・県境道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線、中部縦貫道など高速交通体系に関連する勝山インター線などの基幹的な道路を最優先に、県民の安全と利便性、地元や市町の協力体制なども考慮し、優先度をつけて<b>計画的に整備</b>します。 (平成23～26年度供用開始 24箇所)</li> </ul> <p style="text-align: right;">1箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井港丸岡インター連絡道路については、測量・設計を進め、用地取得を開始します。</li> <li>福井森田丸岡線については、新九頭竜橋の下部工工事および中藤島地区の道路改良工事に着手します。</li> <li>国道8号敦賀市田結～元比田間のバイパス整備について国に要請し、直轄事業としての早期着手を目指します。</li> <li>県境道路である国道417号冠山峠道路については、今年度から岐阜県側においてもトンネル工事に着手するよう国に要請し、早期完成を目指します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>国道365号の越前町舟場～八田間の拡幅が完成しました。</p> <p style="text-align: right;">1箇所</p> <p>福井港丸岡インター連絡道路については、用地測量、物件調査などを行い、用地取得に着手しました。</p> <p>福井森田丸岡線については、10月に新九頭竜橋の下部工事と中藤島地区の道路改良工事に着手しました。</p> <p>国道8号敦賀市田結～元比田間バイパス整備の早期事業化について、県議会や沿線市町とともに国土交通省に強く要請しました。</p> <p>国道417号冠山峠道路の早期完成について、岐阜県や沿線市町とともに国土交通省に強く要請しました。冠山峠道路については、岐阜県側から冠山峠第1トンネルの工事に着手しました。</p>

項目	実施結果
<p>○敦賀港・福井港の機能強化と貿易拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敦賀港鞠山南国際ターミナルの第2期工事を促進するため、新幹線工事などの建設発生土を利用し埋立工事に着手します。</li> <li>・敦賀港鞠山南地区の岸壁整備については、国との協議会を毎月開催して事業計画の熟度を高め、直轄事業としての採択を目指します。</li> <li>・敦賀港において大型客船が安全に入出港するために必要な基準の検討や施設整備の調査を実施します。</li> <li>・福井港では、九頭竜川からの流入土砂対策として、来年度着工に向けて北防砂堤の詳細設計を実施します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>敦賀港鞠山南国際ターミナルの第2期工事に着手するため、9月から北陸新幹線や原子力災害制圧道路の建設発生土の受け入れを開始しました。11月には公有水面埋立免許を取得するなど準備工を進め、3月から海中への土砂投入を開始しました。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>9月16日 北陸新幹線建設発生土受入開始</p> <p>11月19日 工事契約締結</p> <p>11月24日 公有水面埋立免許取得</p> <p>1月13日 原子力災害等制圧道路建設発生土受入開始</p> <p>3月2日 土砂投入</p> </div> <p>敦賀港鞠山南地区の岸壁整備については、直轄事業としての採択を目指し、知事や敦賀市長などによる国土交通省への要望を実施したほか、港湾利用者が参加した検討会を開催するなど、国との協議を毎月行いました。</p> <p>引き続き、県が進める埋め立て工事の完成時期に遅れが出ないように、国に対し、早期着手を強く求めていきます。</p> <p>敦賀港への大型客船入出港を可能とするため、航行安全調査を実施し、入出港基準を策定しました。併せて、大型客船の着岸に必要な防舷材や係船柱の設計を行いました。</p> <p>福井港への流入土砂対策として北防砂堤の事業に着手するため、詳細設計を実施しました。</p>
<p>◇電車・バス・自転車の利活用拡大</p> <p>【部局連携】</p> <p>○福鉄・えち鉄の高機能化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えちぜん鉄道の高架化について、9月末に新幹線高架の線路(仮線)を利用した運行を開始し、平成30年の福井国体までの完成を目指し工事を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>えちぜん鉄道の高架化事業については、9月末に新幹線高架を利用した仮線運行を開始しました。これに伴い2つの踏切を撤去し、朝夕の通勤時間帯の渋滞を解消しました。</p> <p>平成30年の福井国体までの完成を目指し、引き続き、高架本体工事を進めていきます。</p>
<p>○自転車道路の計画的整備・延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の自転車道や観光道路に路面標示を行い、サイクリングコースのネットワーク化を進めます。 (平成26年度末 累計158km)</li> </ul> <p style="text-align: right;">20km増 累計178km</p>	<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>既存の道路を活用して、三方五湖の福井ふるさと百景をめぐり自転車道をネットワーク化しました。</p> <p style="text-align: right;">31km増 累計 189km</p>

項目	実施結果
<p>2 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興</p> <p>◇「安全最優先」の原子力行政</p> <p>【部局連携】</p> <p>○原子力災害制圧道路等の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設する道路について、竹波立石縄間線のトンネル（敦賀市立石～敦賀原発間）と佐田竹波敦賀線の2本のトンネル（美浜町北田～竹波間）の工事に新たに着手します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>原子力災害制圧道路については、竹波立石縄間線と佐田竹波敦賀線の新設道路において、新たに3本のトンネル工事に着手しました。</p>
<p>3 日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）</p> <p>◇あらゆる災害対応を迅速第一</p> <p>【部局連携】</p> <p>○除雪対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロール、支障木の事前伐採、国、高速道路株式会社、原子力事業者等との情報共有など、これまでの大雪時の課題を再点検し、一層の除雪対策を11月までに進めます。</li> <li>・交通の要所である敦賀市～越前市間の高速道路および国道において、除雪体制の充実・強化を図ります。</li> <li>・緊急医療施設周辺道路、最重点除雪路線、緊急輸送道路などについて順次消雪施設を整備します。 (平成26年度末 累計343 km)</li> </ul> <p style="text-align: right;">4 km増 累計347 km</p>	<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>降雪期前にパトロールを実施し、倒木の恐れとなる支障木123本を10月末までに事前伐採したほか、原子力発電所に通じる県道の交通確保のため、昨年度に引き続き、原子力事業者と異常降雪時における除雪作業に関する協定を締結し、冬期交通の安全対策を進めました。</p> <p>「豪雪時における円滑な道路交通確保検討会議」を3回開催するなど、関係機関の協力・連絡体制を見直し、敦賀市から越前市間の幹線道路の除雪対策を強化しました。</p> <p>福井県済生会病院（緊急医療施設）のアクセス道路などに消雪施設を約6 km整備しました。</p> <p style="text-align: right;">6 km増 累計 349 km</p>
<p>○インフラの長寿命化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁、トンネル、ダム、河川の排水機場、砂防施設、下水道施設、港湾施設などインフラの定期的な点検結果に基づく維持・補修による長寿命化対策を進めます。</li> <li>・炭素繊維大手企業との共同研究により、強くて軽い補強部材を用いた橋梁補強技術の開発を支援します。</li> <li>・専門的な外部講師を招聘し、道路メンテナンス研修の充実を図ります。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>点検結果に基づき、橋梁24橋、トンネル10か所、ダム1基、河川排水機場1か所、下水道施設1か所、港湾5港等の維持・補修を実施しました。</p> <p>道路メンテナンス会議を3回開催し、点検が義務化された道路施設の計画的、効果的な管理を実施しました。</p> <p>7月から炭素繊維企業との研究グループ会議を3回開催し、3月には橋梁に試験部材を取り付けるなど、研究開発を進めました。</p> <p>大学教授等を招聘し、橋梁の点検・補修をテーマにした研修を5回実施しました。国、県、市町等職員延べ274人が受講しました。</p>

項目	実施結果										
<p>○足羽川ダムの建設促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>足羽川ダムについては、ダム本体掘削に向けて、平成30年度までに工事用道路と仮排水路トンネルを完成できるように国に強く要請し、平成38年度の完成を目指します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>ダム本体掘削に向けて、平成30年度までに工事用道路と仮排水路トンネルを完成できるように国に強く要請しました。国は地権者間と順次補償契約を進めるとともに工事用道路の整備を進めています。</p> <p>[進捗状況]</p> <table border="0"> <tr> <td>事業用地取得</td> <td>約9割</td> </tr> <tr> <td>工事用道路</td> <td>1.7km (2.9km) 58%</td> </tr> </table>	事業用地取得	約9割	工事用道路	1.7km (2.9km) 58%						
事業用地取得	約9割										
工事用道路	1.7km (2.9km) 58%										
<p>○河川の災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河内川ダムについては、付替えの必要な県道河内熊川線を今年度に完成させ、本体コンクリート打設を進めます。</li> <li>吉野瀬川ダムについては、用地取得を進めるとともに付替えの必要な県道武生米ノ線の整備を進め、事業の推進を図ります。</li> <li>近年に浸水被害が発生した区間、想定氾濫区域内に家屋が集中している区間などを<b>重点的に整備</b>します。 (平成23～26年度 4,368m)</li> </ul> <p style="text-align: right;">800m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洪水により甚大な浸水被害が生じるおそれのある河川について、迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、<b>監視カメラを増設</b>します。 (平成26年度末 累計16箇所)</li> </ul> <p style="text-align: right;">2箇所増 累計18箇所</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>河内川ダムについては、11月に定礎式を行い、着実にダム本体工事を進めるとともに、付替えの必要な県道河内熊川線を12月末に完成させました。</p> <p>[進捗状況]</p> <table border="0"> <tr> <td>本体コンクリート</td> <td>累計10.7万m<sup>3</sup> (25.8万m<sup>3</sup>) 41%</td> </tr> <tr> <td>付替県道</td> <td>4.4km (4.4km) 100%</td> </tr> <tr> <td>付替町道</td> <td>4.6km (6.5km) 71%</td> </tr> </table> <p>吉野瀬川ダムについては、用地取得を進めるとともに付替えの必要な県道武生米ノ線の整備を進めています。</p> <p>[進捗状況]</p> <table border="0"> <tr> <td>事業用地取得</td> <td>約9割</td> </tr> <tr> <td>付替県道</td> <td>3.8km (4.5km) 84%</td> </tr> </table> <p>平成25年台風18号により被災した野木川や市街地部を流れる大蓮寺川などについて、早期に事業効果を発現できるよう<b>重点的に整備</b>しました。</p> <p style="text-align: right;">990m</p> <p>過去に氾濫被害等があった2河川(鞍谷川、天王川)に<b>河川監視カメラ</b>を設置しました。</p> <p style="text-align: right;">2箇所増 累計18箇所</p>	本体コンクリート	累計10.7万m <sup>3</sup> (25.8万m <sup>3</sup> ) 41%	付替県道	4.4km (4.4km) 100%	付替町道	4.6km (6.5km) 71%	事業用地取得	約9割	付替県道	3.8km (4.5km) 84%
本体コンクリート	累計10.7万m <sup>3</sup> (25.8万m <sup>3</sup> ) 41%										
付替県道	4.4km (4.4km) 100%										
付替町道	4.6km (6.5km) 71%										
事業用地取得	約9割										
付替県道	3.8km (4.5km) 84%										

項 目	実 施 結 果
<p>○土砂災害対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域において土砂災害から保全する人口を増やすため、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設などの整備を進めます。 (平成26年度末 累計35,323人)</li> </ul> <p style="text-align: right;">237人増 累計 35,560人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早期の住民避難に資するため、詳細な防災情報を提供するとともに、市町と連携し土砂災害を想定した避難訓練を継続して実施します。</li> <li>防災意識の向上を図るため、地域住民を対象とした土砂災害講習会や小学生を対象とした防災出前授業を開催します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <hr/> <p>砂防堰堤を3箇所、急傾斜地崩壊対策施設を11箇所整備し、保全人口が268人増加しました。</p> <p style="text-align: right;">268人増 累計 35,591人</p> <p>土砂災害の危険度の推移を表示したグラフのホームページでの提供や、危険情報の携帯電話へのメール配信など、防災情報の発信を強化するとともに、土砂災害を想定した避難訓練を14市町において実施しました。</p> <p>避難訓練会場等において、地域住民を対象とした土砂災害講習会を開催するとともに、小学校など24校において防災出前授業を開催しました。</p>
<p>○空き家対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中古住宅の流通を促進するため、「福井県住宅診断制度」の実施やふくい空き家情報バンクへの登録を促します。 (平成26年度新規登録 83戸)</li> </ul> <p style="text-align: right;">100戸</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <hr/> <p>ふくい空き家情報バンクのホームページをリニューアルし、福井の住まいの特徴などを掲載するとともに、市町や不動産団体と協力して、空き家の所有者への新規登録および「福井県住宅診断制度」の利用の働きかけなどを行いました。</p> <p style="text-align: right;">102戸</p>
<p>◇「安全・安心ふくい」確立プラン</p> <p>【部局連携】</p> <p>○通学路や高齢者の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町の教育委員会や警察署と協議を進め、道路の通行区分を見直し、自転車安心通行帯を確保します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <hr/> <p>全ての市町において通学路安全推進会議を開催し、25路線 約33kmを自転車安心通行帯の整備必要箇所として抽出しました。</p>

項 目	実 施 結 果
<p>4 人口減少に歯止めをかける徹底戦略</p> <p>◇日本一の「結婚・子育て応援社会」 【部局連携】</p> <p>○ふくいの住まい総合支援</p> <p>・UIターン者が入居する一戸建て住宅の購入やリフォーム工事への助成を行います。 (平成26年度 ー )</p> <p style="text-align: right;">20戸</p> <p>・多世帯同居・近居に必要となる一戸建て住宅のリフォーム工事や取得費用への助成を行います。 (平成26年度 20戸)</p> <p style="text-align: right;">50戸</p>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <hr/> <p>市町と協力して、UIターン者が入居する一戸建て住宅の購入やリフォーム工事への助成を行いました。 助成制度の利用を促進するために、市町とともにUIターン希望者を対象にしたイベントでの情報提供、新聞や広報誌への掲載、建築関係団体や不動産団体に働きかけなどを行いました。</p> <p style="text-align: right;">4戸</p> <p>市町と協力して、多世帯同居・近居に必要となる一戸建て住宅のリフォーム工事や取得費用への助成を行いました。 助成制度の利用を促進するために、市町とともに新聞や広報誌への掲載、建築関係団体や不動産団体に働きかけなどを行いました。</p> <p style="text-align: right;">61戸</p>

項 目	実 施 結 果
<p>5 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に</p> <p>◇景観を県民資産に【部局連携】</p> <p>○「わがまち景観」の保全・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路周辺の景観を改善するため、<b>道路標識柱等の集約化</b>を行うとともに、<b>標識の撤去</b>を進めます。 (平成23～26年度 71箇所)</li> </ul> <p style="text-align: right;">10 箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井国体の開催や北陸新幹線の県内開業に向け、観光地やまち並みなどの良好な景観づくりを推進するため、屋外広告物条例等の設置基準を見直します。</li> <li>足羽川において水辺に親しむイベント、川遊び、釣り体験などの<b>親水活動の定着</b>を図るとともに、舟着場を活用した毛矢の<b>漕舟体験</b>を実施します。 (平成26年度参加者 4,416人)</li> </ul> <p style="text-align: right;">5,000 人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線等大型工事により生じる建設発生土の需給調整を行い、さらにトンネル掘削土を敦賀港鞠山南2期工事に再利用するなどにより、土砂採取による山の切り崩しを抑制し景観を保全します。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に<b>河川の浚渫</b>や伐木を実施するとともに、浚渫土砂の新たな利活用策を検討するため産学官連携による検討会を9月頃に設立します。 (平成26年度 3.8万m<sup>3</sup>)</li> </ul> <p style="text-align: right;">4.0万m<sup>3</sup></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <hr/> <p>既存の道路標識の背面利用や、設置位置の見直しによる<b>標識柱の撤去</b>など<b>集約化</b>を行いました。</p> <p style="text-align: right;">14 箇所</p> <p>屋外広告物条例等の見直しについては、県民パブリックコメントをはじめ、広告主である商工関係団体、広告業者との意見交換を行い、広告物の高さや大きさなど設置基準を見直すとともに、新たに北陸新幹線沿線や主要な観光地周辺を規制対象に追加するなど、条例改正を行いました。</p> <p>足羽川の利活用については、春にはお花見Eポート、秋にはカヌー体験を開催するなど、多様なイベントを開催しました。 また、毛矢の漕舟体験については、8月から10月に開催し、夜間航行を新たに実施したことなどにより、1,000人を超える参加がありました。</p> <p style="text-align: right;">6,060 人</p> <p>鉄道・運輸機構、国土交通省、県および市町をメンバーとした「建設発生土利用促進委員会」を3回開催し、北陸新幹線や中部縦貫自動車道など大型工事から生じる建設発生土の需給調整を行いました。 新北陸トンネル工事の掘削土を敦賀港鞠山南2期工事の埋立に活用するとともに骨材としても再利用しています。</p> <p><b>河川の浚渫</b>と伐木を実施し、あわせて浚渫土砂の有効活用、伐採木材の無償提供を実施しました。 また、産学官による「河川浚渫土砂利活用促進検討会」を10月に設立し、浚渫土砂の新たな利活用策を議論しました。</p> <p style="text-align: right;">4.0 万 m<sup>3</sup></p>



項目	実施結果
<p><b>○三里浜緑地の利活用推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に緑の自然景観を楽しめるよう、緑地内の環境改善を行い、利用しやすい環境づくりを進めます。</li> <li>・健康づくりのためのウォーキングや子供たちの自然学習の場として自然観察会などを開催し、自然とふれあえる活動を展開します。</li> <li>・地域の観光振興につながるよう、緑地内に海や三里浜砂丘地を眺望できる場所を整備し、「道の駅」などと連携した利活用を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>緑地内を明るくするなどの環境改善を行うため、モデル的に樹林の下草刈りや樹木の枝打ち、剪定を実施しました。</p> <p>地元まちづくり協議会や道の駅とも協力し、健康づくりのためのウォーキングや子供向けの自然学習会などのイベントを実施しました。</p> <p>「道の駅みくに」の周辺において、新たな展望所の整備を進めるとともに、花らっきょ祭の開催に合わせ三里浜特産物を紹介するイベントを実施しました。</p>
<p><b>◇低炭素のまちづくり推進</b></p> <p><b>○環境に調和した研究の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設技術研究センターにおいて道路の長寿命化のため、橋梁のコンクリート床版や道路舗装を簡易かつ安価に診断し、劣化状況に応じた補修方法の開発を進め、実証試験を行います。</li> <li>・アスファルト廃材の軽減のため、舗装のひび割れに接着剤を注入する予防保全的な補修方法の開発を進め、施工機械を試作し、性能試験を行います。</li> <li>・農業ハウス倒壊の未然防止や効率的な除雪体制に活用するため、福井独自の降雪予測システムを開発します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>橋梁のコンクリート床版および道路舗装の劣化状況を小型計測器により簡易かつ安価に診断する技術を確認するため、7か所での詳細な実証試験を実施し、劣化状況を診断する方法を開発しました。</p> <p>舗装のひび割れに接着剤を注入するための施工機械を試作し、接着剤注入の効果を確認しました。</p> <p>過去の降雪量、気温、風などの気象データを基にした降雪予測方法の改良を行い、精度を向上しました。</p>
<p><b>6 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略</b></p> <p><b>◇観光フロンティア・福井【部局連携】</b></p> <p><b>○100万人観光地の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永平寺町において、町が整備する観光や農産物販売の拠点となる地域振興施設と合わせて、「道の駅」を供用開始します。</li> <li>・「道の駅」をより魅力的な観光や地域振興の拠点とするため、県内の「道の駅」が連携し、利用客の拡大を図ります。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>永平寺町の道の駅「禅の里」を3月19日に供用開始しました。</p> <p>道の駅駅長同士の情報交換を行う駅長会議を4回実施し、道の駅スタンプラリーを2回実施しました。</p>

項目	実施結果
<p>7 行財政構造改革</p> <p>◇150億円の「政策推進枠予算」を確保【部局連携】</p> <p>○県有地の売却・利活用</p> <p>・宅地建物取引業者間のネットワーク、インターネット公有財産売却システム等を活用し、<b>県有地の売却や利活用</b>を進めます。</p> <p style="text-align: center;">(平成26年度 4区画)</p> <p style="text-align: right;">4 区画</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <hr/> <p>宅地建物取引業等の関係団体、近隣立地企業等へのPRや訪問活動、インターネット公有財産等売却システムによる公募や一般公募を行い、4区画を売却しました。</p> <p style="text-align: center;">〔 ・花乃杜ハイツ等 4区画売却 ・27年度歳入：17,505千円 〕</p> <p style="text-align: right;">4 区画</p>

**【実施結果の区分】**

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)